

粉じん等発生施設設置（使用、変更）届出書  
粉じん等発生作業実施（実施変更）

年 月 日

岐阜県知事 様

住所

届出者

氏名

（法人にあつては名称及びその代表者の氏名）

（電話番号）

岐阜県公害防止条例第28条第1項（第28条第3項、第29条）の規定により、粉じん等発生施設又は粉じん等発生作業について、次のとおり届け出ます。

工場、事業場等の名称		※整理番号	
工場、事業場等の所在地		※受理年月日	年 月 日
粉じん等発生施設又は粉じん等発生作業の種類		※施設番号	
		※審査結果	
粉じん等発生施設又は粉じん等発生作業の構造並びに使用及び管理の方法	別紙のとおり	※備考	

備考

- 1 粉じん等発生施設又は粉じん等発生作業の種類欄には、岐阜県公害防止条例施行規則別表第4又は別表第5に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 粉じん等発生施設設置（使用）又は粉じん等発生作業実施の区分に応じ、別紙1から別紙2の2までの様式のうち該当するものを添付すること。

別紙 1

粉じん等発生施設（コンベア・原料精選施設・粉碎施設・動力打綿機・動力混打綿機・素灰、活性炭製造施設・消化施設・ふるい分け施設・セメント加工施設（セメントホッパー、バッチャープラント）・砂利（砂を含む。）選別施設・砂処理施設）及び粉じん等発生作業（吹付塗装作業）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号				
名 称 及 び 型 式				
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日	年 月 日
着 手 年 月 日		年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日	年 月 日
規 模	コンベア単基の長さ（m）×基数			
	運 搬 能 力 （t/h）			
	処 理 能 力 （t/h）			
	吹 付 能 力 （t/h）			
	原 動 機 の 定 格 出 力 （kw）			
処理対象物の種類、性状及び通常の月間処理量（t/h）				
使 用 及 び 管 理 の 方 法	施設がその中に設置されている建築物の概要			
	集 塵 機	集塵機の形式種類		
		集塵機効率（%）		
		集塵機の定格出力（kw）		
	散 水 設 備	装置の種類、形式、基数		
		装置の能力（m <sup>3</sup> /h）		
		対象量（運搬、処理、生産等）当たりの散水量（l/h）		
	防塵カバーの設置概要			
	その他	方 法		

備 考

- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合に設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する装置について記載すること。
- 3 粉じん等発生施設及び粉じん等の処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

粉じん等発生施設（樹脂加工施設・セロファン製造施設・反応施設・活性炭製造施設・表面処理施設）の構造並びに使用及び管理の方法

粉じん等発生施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
原 料 の 処 理 能 力 ( t / h )			
使 用 状 況	1日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月
	季 節 変 動		
主要原材料（使用薬品を含む。）の 名称及び1日当たりの使用量 （粉じん、ガスの発生に影響のある ものに限る。）		名 称	使 用 量
発生工程及び反応工程の概要		別紙 のとおり	別紙 のとおり
施設がその中に施設されている建築物の概要			

別紙 2 の 2

処理施設の構造並びに使用及び管理の方法

粉じん等に係る処理施設の工場又は事業場における施設番号				
処理する粉じん等発生施設の工場又は事業場における施設番号				
処理施設の種類、名称及び型式				
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日	
使用状況	1 日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月	
	季 節 変 動			
処理の方法	排 風 機 の 風 量 (m <sup>3</sup> /min)			
	排 出 ガ ス 量 (m <sup>3</sup> /h)	最大 通常	最大 通常	
	排 出 ガ ス 温 度 (℃)			
	発生する粉じん等の種類			
	排出口における粉じん等の濃度	処理前(mg/m <sup>3</sup> )		
		処理後(mg/m <sup>3</sup> )		
捕集効率 (%)				
敷地境界における濃度(mg/m <sup>3</sup> )				
排気筒の地上からの高さ(m)				
頂口径 (m)				
排気口から敷地境界線までの最短水平距離(m)				
処理によって生ずる物質の種類、生成量及び処理の方法	種 類			
	生成量(kg/日)			
	処理の方法			

備 考

- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 別紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 の大きさとすること。
- 3 排風機の風量及び排出ガス量については温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下この3において「標準状態」という。）における量に、濃度については標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。